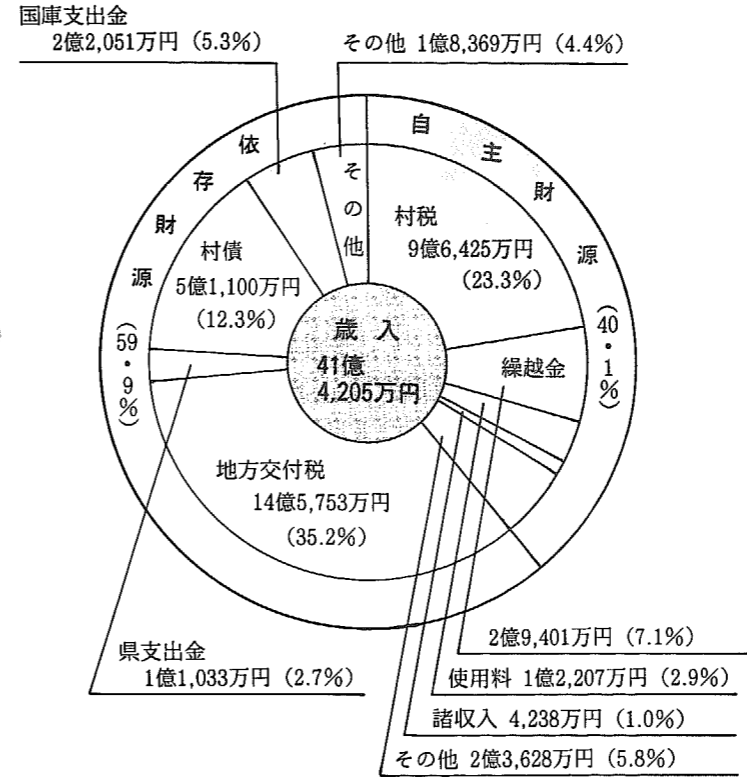


お知らせします 平成7年度

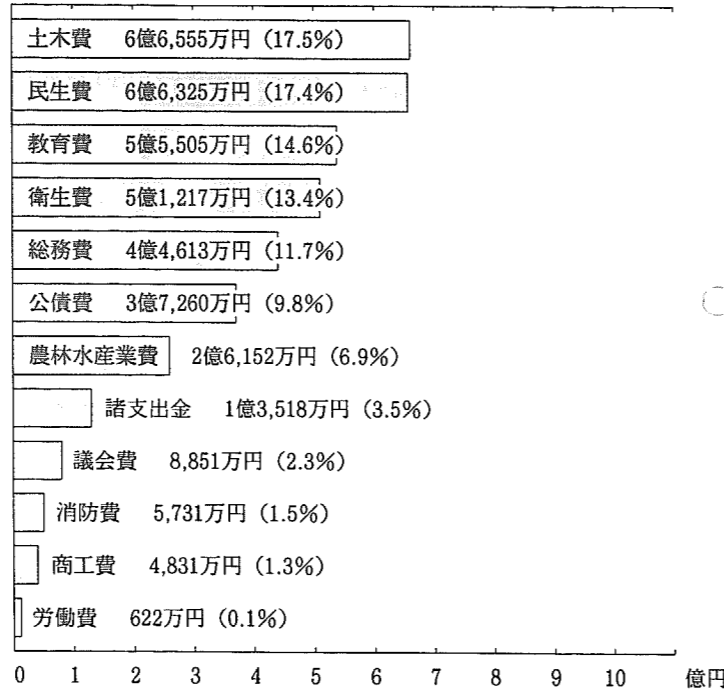
一般会計決算

平成7年度の村のお金がどのように使われ、村の財政がどのように運営されたかを町民のみなさんから知っていただくため、一般会計決算をお知らせします。

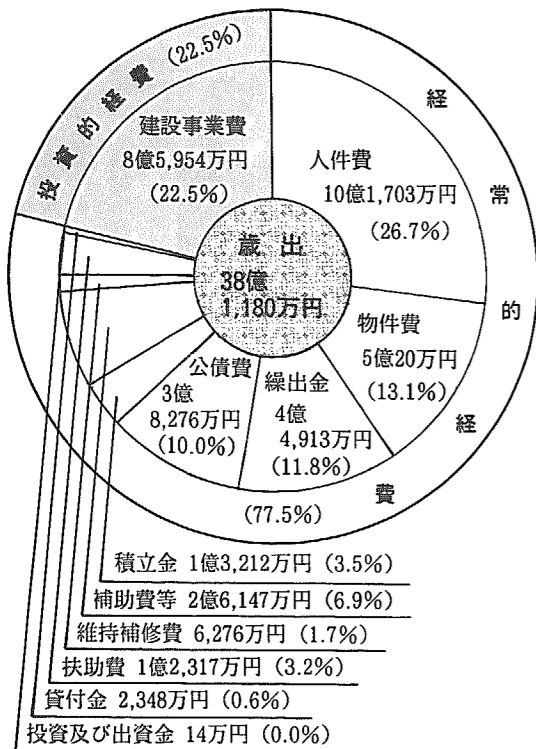
〈表1〉歳入 41億4,205万円



〈表2〉歳出 38億1,180万円



〈表3〉性質別経費



- 村の財産 (平成7年度末現在)
- ・土地……………193,597㎡
 - ・建物……………26,976㎡
 - ・出資による権利……………837万円
 - ・基金……………17億6,566万円

- 村の借入金残高 (平成7年度末現在)
- ・一般会計……………45億9,840万円

村税の内訳

		村民1人当たり
村民税	4億2,545万円	41,305円
固定資産税	4億8,060万円	46,660円
たばこ税	4,166万円	4,044円
軽自動車税	1,325万円	1,286円
鉱産税	329万円	319円
合計	9億6,425万円	93,614円
		(前年度対比 6.5%増)

〈別表〉投資的経費

一般廃棄物最終処分場建設事業	2億8,527万円
道路新設改良事業	1億3,095万円
沢海床固め公園事業	8,009万円
横雲バイパス関連排水路事業	5,597万円
県営農地防災排水事業負担金	5,156万円
中央保育園大規模改修事業	5,099万円
小学校グラウンド改修事業	3,605万円
歩道新設事業	3,519万円
先進型農業基盤整備モデル事業負担金	2,337万円
ディサービスセンター改築事業	1,023万円
村民プール改修事業	917万円
その他(親松排水機場維持管理負担金など)	9,070万円
合計	8億5,954万円

○村民一人当たり使ったお金 三七〇、〇七八円
 (前年度対比二・五%減)
 ○村民一人当たり借金残高 四四六、四四七円
 (前年度対比八・八%増)

健康づくりの推進、生活環境の保全など、総務費では交通安全対策事業、農林水産業費では、水田営農活性化対策事業、先進型農業基盤整備モデル事業、農地防災事業など、諸支出金においては、各種基金の積立など財政の健全化に努力しています。次に性質別経費表3を見

ますと議員や各種行政委員の報酬、職員の給与である人件費、物件費、公債費等の経常経費が七十七・五%、道路や排水路の整備、小学校グラウンドの改修などの投資的経費が二十二・五%となっています。投資的経費の内容は別表3のとおりです。

歳入(表1)を見ますと、村税、繰越金などの自主財源は四十・一%、これに対して国庫支出金、地方交付税、村債などの依存財源は五十九・九%となっています。目的別歳出の状況は表2のとおりです。主なものとして、土木費では、村道新設改良事業、沢海床固め公園事業、横雲バイパス関連排水路事業など、民生

一般廃棄物最終処分場建設事業・沢海床固め公園整備等を実施

十二月定例町議会で、平成7年度決算が審査され認定されましたのでお知らせします。一般会計は、当初予算三十五億六千四百万円でスタートしました。その後、六回の補正を行いました。その結果、歳入総額四十一億四千二百五万円に對して、歳出総額三十八億一千八百八千円となり、差引三億三千二百四十二千円となります。衛生費の一般廃棄物最終処分場建設費等の繰越事業の財源として一千三十三万五千円を翌年度へ繰越すため、実質三億一千九百九十七千円の黒字決算となりました。

前年度と比較すると、歳入は九億九千八百六十二千円(十九・三%減)、歳出では(二十一・二%減)とそれぞれ大幅に減少していますが、その理由としては、平成六年度に総合体育館、小・中学校の体育館増築等、大規模事業が終了したことによるものです。町制施行後ますます増大する行政需要に對する対応のため、税収の確保はもろろんのこと、予算の効率的配分等限られた財源の有効活用を努めています。

平成七年度決算 三億一千九百九十万七千円の黒字